

第3回伊勢市立保育所あけぼの園移管先選定委員会議事概要

1. 日時 令和2年1月24日（金） 午後3時30分から
2. 場所 伊勢市役所東庁舎4階 4-3会議室
3. 委員 学識経験者 深草 正博
財務関係有識者 仲野 靖
保育関係者 山際 悦子
地域関係者 田端 忠男
保護者代表 下村 明子
保護者代表 濱村 味来
4. 事務局 健康福祉部長 鳥堂 昌洋
健康福祉部次長 大井戸 清人
健康福祉部参事 鈴木 光代
こども課長 堀川 友里
こども課保育係長 濱地 直樹
こども課保育施設管理係長 須川 文
保育所あけぼの園所長 太田 ちあき
保育所あけぼの園職員 林 有里恵
こども課保育係主査 小西 さゆり
こども課保育施設管理係 竹澤・西澤・村澤
5. 傍聴人 9名
6. 内容
 - (1) 法人の財務状況について
財務関係有識者である仲野委員より、提出書類の財務諸表について、解説をしていただいた。
 - (2) 法人によるプレゼンテーションについて（公開）
法人 平成21年社会福祉法人として設立。
平成22年えがお保育園開園。
平成23年リンドバーグという学童施設を開設。
平成25年えがお志摩保育園開園。

理事、評議員について説明。

各施設の利用園児数、職員数について説明。

設立の思いについて説明。

安藤塾を30年前に始めたが、子どもたちの自分の可能性を切り開くためにどうすればよいのかという思いでやっていく中で、幼児期の環境がものすごく影響を与えていると気づいた。

そして、いつかは、保育園をやりたい思った。

保育園は、親が忙しかったりする中で、自分が愛されているといったところで、幼稚園というよりは保育園の方が貢献できると思った。

そして平成21年、土地もお金もない中でえがお保育園を開園した。えがお保育園はクラス名に特徴があり、0歳児から順に、きらきら組、うきうき組、うれしい組、わくわく組、しあわせ組、ありがとう組と呼んでいる。

職員室はえがお組、給食室はおいしい組と呼んでいる。

園の歌も私が自作して、職員が作曲して作った。

これらは、言葉ひとつでもポジティブでいようという思いで、大真面目にやっている。

私たちの行事のテーマは、お父さん、お母さんに涙を流していただくという一点で行っている。

運動会、生活発表会、誕生会、さまざまな場面で、お父さんお母さんは生まれてきてくれてありがとう、と、子どもたちは生んでくれてありがとう、とメッセージを送る。

保育園で暖かい愛情にあふれて育った子どもたちは、周りや地域に優しくできる。

そうすれば地域が明るくなり、その子の未来も明るくなる。

明るくえがおで乗り越えられるたくましい子どもを、幼児期から関わることで、地域貢献をしたいと思っている。

しかし、お金や土地があるわけではなく、職員のチームワークで何とかここまでやってこれた。

新たに土地を購入し、開発し、園舎を建てるのは大変である。

今回、伊勢市からこのような話があると聞き、その中で私たちの思いを、無理のない範囲で、しっかりと気持ちを込めた保育園の運営ができるのではないかと思い、今回応募した。

法人

今回配布した資料に、保育園の様子、写真をまとめた。

子どもたちはえがおいっぱい保育活動をしていて、その様子を通信でまとめて定期的にお知らせしている。

子どもたちは保育園で過ごす時間が多いので、保護者が安心して預けられる保育を大切にしている。

また、親子でいっしょに取り組む活動も大切にしている。

忙しいおうちの方のほっとする場でもありたい。なぜならおうちの方のえがおは、子どものえがおにつながると考えるから。

地域に根差した大きな家族のような保育園を目指している。

一方で、あけぼの園の歴史やあゆみを知ること大事だと思うので、今後も地域の文化に触れ、楽しく学びあう保育を運営していきたい。

(3) 質疑

委員 保護者負担金、制服代、保育用品代について移行期間は設けていただけるか。

法人 それだけの期間は十分に見させていただけようと思う。今入園している0歳児のお子さんが卒園される5年くらいをかけて、と考えている。希望する子には購入していただけるようにする。

委員 延長保育にかかる料金は。

法人 6:00~6:30が200円、6:30~7:00が追加で300円、計500円。月額5,000円が上限額。

委員 保護者会としてえがお応援会があるとのことだが、役員は何人で、どのような活動内容か。

法人 保育園での活動を応援してもらいたいという意味合いで、えがお応援会と呼んでいる。

大きな行事の前に年6回くらいの会議と、主要な行事の手伝いをしてもらっている。

3歳児から5歳児の保護者4名で構成している。

委員 誕生会を一番大切にされているとのことだが、何歳の誕生日からか。

法人 0歳児から参加してもらっている。

お母さんが仕事を休んでまで参加してくれるか不安だったが、実際にはお母さん方も楽しみにしてくれている。

子どもたちは自分のために休んで来てくれたと嬉しがっている。

委員 親が子に手紙を用意するものなのか。

法人 そういうわけではないが、お母さんが子どもに宝物を発表してもらっている。

委員 保護者のアンケートでは、当面、今のあけぼの園と行事を変えないでほしいという意見がある。

今のあけぼの園は年次が上がっていくにつれて帽子の色が変わって

いくが、それが楽しみだと感じている。

えがお保育園の色が濃いというイメージだが、どれくらいあけぼの園に寄り添ってくれるのか。

法人

当然、あけぼの園の歴史は私たちよりあるので、それを移行期間の間に知りたいと思っている。

帽子の色が楽しみだという話はよく分かるので、大切にしたい。

委員

園名とクラス名の変更について反対意見もあるが、移行期間はあるか。

法人

急に変わるというのはどうかと思うので、話し合いで決めていきたい。

できれば徐々に変えていきたいとは思っている。

委員

保育士確保について、集まらなかったらどうするのか。

法人

一番にあけぼの園で働く保育士と少しでも話をしていきたい。

今いる保育士が少しでもいた方が安心感があると思うので、それは最優先で考えている。

それから大学と連絡を取り合って、来年1年間でたくさん保育士を集めないといけないという協力体制。

チラシや求人サイトなど、集めるしかないという思いでいる。

委員

子どもたちは先生に慣れるのに時間がかかる。

今いる保育士を、伊勢市の職員のままで、派遣するとなったときに、協力していただけるか。

法人

どうかたちであれ、慣れ親しんだ保育士をそのままいていただけるようなことは全面的にウェルカムである。

子どもたちの違和感をなくすような様々な方法は全て前向きに検討しなくてはならない。

また、今、えがお保育園、えがお志摩保育園で勤務する職員も何人かは異動することになると思うが、ある日まったく知らない先生が来た、ということにならないように、1年間の中でじっくりゆっくり交流を進めたい。

また、園名、クラス名などについては、保護者の方とも話し合えてない現状ではゼロの段階なので、ゆっくり話し合いたい。

われわれのものを押し付けるつもりはない。

委員

保育用品代3,000円～8,000円とは、毎年かかるものか。

あとテキスト代500円とは毎月か。

法人

そのとおり。

委員

個別懇談会年2回とあるのは、必ず参加しなくてはならないものか。

法人 7月ごろのものは希望者のみ、2月ごろの進級に際してのものは必須。夕方や昼休みなど、参加してもらいやすい時間に、1週間程度の期間をとって行う。

委員 給食参観とは年に何回かあるものなのか。

法人 誕生会に合わせ、普段の給食の様子をいっしょに食べていただきながら見てもらうものである。

法人 (提出書類に) 記載してあるのは、現状運営している保育園でのことで、全てこのとおりにやっていくというわけではない。都度話をしながら、ここはここまでといったグラデーションでやっていく必要があると考えている。

委員 明野地区には1,800世帯あるが、もともとあけぼの園1ヶ所だけだった。

そこで古くからある園名は残してほしいという話がある。

園名を変更するのであれば、地元にも話をしていただきたい。

法人 現時点で「えがおあけぼの園」だったらいいなと思っているが、地元や保護者の意見も聞いて、着地点があればいいと思う。

委員長 危機管理について特にどのような配慮をしておられるのか。

法人 全てにおいて、いろんな安全を考えているが、防犯カメラ、門扉のインターホン、地震が起きた時の準備、給食や衛生管理など。アレルギー対策としては、除去食、園児が口にするまでのマニュアル整備、口頭でのチェック、対象児の座る位置、お盆の色などを工夫している。

委員長 人権尊重についてはどういった点に留意しているか。

法人 職員会議の場で1ヶ月1回セルフチェックを行い、また法人全体として人権研修を行っている。

委員長 保育士の質の向上という点で、どのように質を確保しているのか。

法人 保育士には自分がどのような保育士になりたいかというイメージから始まり、それをもとに研修計画を立てている。

私自身は保育士それぞれのいいところを認めていくように心がけている。

委員長 やはり保護者から見ると不安感もあるので、引継ぎをとにかくお願いしたい。

それと、公立から私立になるという不安もあると思うので、その辺も配慮していただきたい。

(4) 意見交換 (非公開)

各委員が提出書類、プレゼンテーション、質疑応答を受けて、感想を述べた。

(5) 採点・協議（非公開）

2 委員が基準点（290 点中 174 点：60%）を下回ったため協議を行った。委員会としては、移管先法人として、条件を付して認めることとした。

7. まとめ

以下の条件を付して認める。

- (1) 可能な限り伊勢市立保育所あけぼの園の現状を引き継ぐこと
- (2) 協定締結後、すみやかに保護者説明会を開催し、その後も十分に保護者の意見を聞き、取り入れること
- (3) 制服等の費用負担については、様々な観点から配慮を行うこと